

(株) 第一興商 第 31 回番組審議会議事録

- 日 時 平成 29 年 5 月 18 日 (木) 16 : 00 ~ 17 : 30
○場 所 第一興商・本社 3F 会議室
○議 題 ・スターデジオ・トピックス
・スターデジオ (100ch.音楽ラジオ、スターデジオ光 4ch)

番組審議会委員・出席一覧 (敬称略) 19 名出席

《出席者》

平尾 昌晃	作曲家 (審議会委員長)
音 好宏	上智大学教授 (議長)
弦 哲也	作曲家
湯川 れい子	作詞家/音楽評論家
ボブ 佐久間	作曲家/指揮者
山下 典子	企画制作プロデューサー
伊藤 薫	作詞/作曲家

(株)第一興商・出席者一覧

林 三郎	代表取締役社長
保志 忠郊	専務取締役兼上席執行役員
渡邊 泰人	取締役兼上席執行役員

制作本部 BGM 放送部

渡辺 宏	BGM 放送部部长
瀧本 茂	BGM 放送部次長
八巻 任	放送企画課課長
吉倉 聡	放送制作課課長
細本 正樹	放送制作課リーダー

番組審議会事務局

早坂 公雄	放送企画課専任
榎本 篤	放送企画課リーダー
磯部 智子	放送企画課チーフ
田中 千尋	放送制作課

1. 2016年度 第一興商・トピックスの報告

1) 業務用カラオケ事業について

- ・映像コンテンツの強化
- ・カラオケユーザーとのコミュニケーション強化
- ・エルダー事業の拡がり

2) 店舗事業について

- ・カラオケルーム 地域にあったブランド展開
- ・飲食店 新業態の店舗を OPEN

3) スターデジオ(一般家庭向けサービス)の加入状況

4) スターデジオ/スターダム(業務用サービス)加入状況

5) スターデジオ・トピックス

2017年4月 チャンネル増

スターデジオ光にて 10 チャンネル新たに開局

2. 放送番組審議会

《テーマ》新チャンネルの編成方針について

ー対象チャンネルー

○MIXTRAX のチャンネルについて

Ch.601 1980 年懐メロ MIXTRAX

Ch.602 1990 年懐メロ MIXTRAX

Ch.400 アーティスト MIXTRAX

○Ch.501 懐かしのポピュラーソング (曲紹介入り)

1) MIXTRAX のチャンネルについて

○放送局説明

新しい音楽の聴き方、またスターデジオオリジナルコンテンツとしまして、パイオニア社開発プログラムの「MIXTRAX」を業界初として導入。

音楽データをプログラムが読み取り、自動的に良いポイントを繋げてくれるノンストップミュージックチャンネルです。

「1980年代懐メロ MIXTRAX」「1990年代懐メロ MIXTRAX」の2チャンネルをオムニバスで繋げて放送しています。またチャンネル400においては、アーティスト特集としまして1アーティストのヒットソングをノンストップで約40曲を繋げて放送をしております。これらのチャンネルはカラオケユーザーが集まる店舗と、相性が良いチャンネルだと思っております。

◎審議委員

ラジオ(AM・FM)、インターネットではできないオリジナリティがあり第一興商ならではのチャンネルで非常にいいなと思いました。個人的に 1960~70 年代の音楽を私は聴いていたが 80 年代の曲はみんな知っているのでもいいと思います。

カラオケ喫茶やカラオケ BOX ではカラオケで歌い疲れて少し休みたい時など、一杯飲みながらこのチャンネルを聴いて“あ、そうだこの歌を知ってたな”“今度はこの歌を歌おう”となり、カラオケ歌唱意欲が出てカラオケと繋がり素晴らしいと思いました。

◎審議委員

ものすごく曲が短いです。あえて短く繋げていると思いますが、これは実際にもこの長さでやっているのでしょうか。

このテンポにした理由があるのかわかりませんが、一番長くても 2 分程しかなく、意図的なものがあつたのかもしれませんが短すぎます。ちゃんと聴きたいとお客様から不満がでてくると思います。

◎審議委員(Ch.400 アーティスト特集 MIXTRAX)

一人のアーティストをずっと聴くのは厳しいしチャンネルとしてつまらない。よほどのファンでなければ厳しいのではないかと。違った曲調やアレンジだろうと同じ声で、しかも短いタイムで次から次へと流れ続けるのも意図的にどうかと思いました。

◎審議委員

私が一番気にするのは聴いている人が飽きない事。MIXTRAX はプログラムが作っているとおっしゃいましたが、例えば“サビから出る”“バラードだけ”“間奏だけのパートで欲求不満にさせる”など、ただ曲を羅列するのではなく色々なレパートリーがあつても面白いと思います。

◎審議委員

曲の出だしを聴いた時に感動したが、あつという間に曲が終わってしまい余韻に浸る余裕がなかった。思い出に浸る暇がないので思い出に浸る空間が欲しい。選曲はすごく良いです。

◎審議委員

フルコーラスを聴けるチャンネルもあるので、あえて変わったものを聴きたい方にはこのチャンネルはいいですし、ゆったりじっくり聴きたい方はフルコーラスを聴けるチャンネルを聴いてもらえればこのスタイルはありだと思いました。

◎審議委員

繋がりがグシャグシャとしていて、そのせわしなさにせっかく聴こうと思っているところ

を壊された印象があると思いました。フェードアウトからフェードドインした方が心落ち着いて次の曲に移れるのではないのでしょうか。

今後色々と試行錯誤していただければ良い形ができると思います。

◎審議委員

じっくり聴きたいチャンネルもあるので(今回議題のチャンネルは)新しい取り組みは他のラジオ局では聴けないひとつの変わり種で、このようなチャンネルをどれだけ作れるかが今回の企画だと思います。

○放送局説明

曲の長さはプログラムの設定による、ある程度の調整は可能です。

今後聴き比べながら調整していきます。

2) 懐かしのポピュラーソングについて

○放送局説明

「1950年代～60年代(昭和25～44年)にヒットした楽曲を中心に」選曲しております。内容は楽曲の前に曲紹介のナレーションを入れ、邦楽、洋楽を交えオムニバスで放送しております。色々な情報がある中でどこをチョイスするか、あまり長くならないナレーションもしくは短くなり過ぎないように検討した結果、ナレーション前半1分ほどの尺で進めています。

◎審議委員

ナレーション部分のボリュームが大きく感じ、音楽のボリュームが小さく聴こえるので、ボリュームバランスを考えていただきたい。

ナレーションが固いので、背景に耳障りではないBGMを軽くひいた方が良い。また、もう少しナレーションのしゃべり方をゆっくり、ソフト感を出してその流れの中で曲に入ると理想的だと思います。

◎審議委員

歌手、詞曲者名を資料として出てくるのはいいが、しゃべりのスタイルがとても古い。

心にチクッと残るようなエピソード(新幹線開通や流行したこと)など時代を感じさせるものや、ナレーター本人の個人的な思い出など、そういう人間臭さや時代を感じものが入ってくれば聴き飽きないのではないのでしょうか。

◎審議委員

このナレーションは魅力的ではなく事務的に聴こえます。

同意見で後ろにBGMをひいたら改善されるのではないのでしょうか。

◎審議委員

その時代を知らない人がただ原稿を読んでいるイメージで魅力がなかった。
勿体ないので全体の雰囲気がでたらもっと良いなと思いました

◎審議委員

ナレーションのテンポが速いので、ゆったりと、含んで聴かせるような、ため息がひとつ入るテンポ感の方が高齢者の方にとっては聴きやすいと思います。

3) 総じて

◎審議委員

他のチャンネルでフォローができるということで実験的に試されているのであれば私は革新ものだと思います。これから色々なパターンをされて磨かれることを期待しております。

◎審議委員

戦略的なチャンネルだと思いました。試行錯誤しながら新しいやり方でその反応を見ながら作っていけばちょうどいいところに収まるのではないのでしょうか。

○放送局

貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。

以上